

LGBT法 連合会

2019年参議院議員選挙に際して
LGBT（性的指向・性自認）をめぐる課題に関する
各立候補者の政策と考え方に関する調査<調査票>

2019年7月15日現在

比例区 日本維新の会所属 候補者の回答結果

現時点での日本維新の会回答回収ご立候補者（回収順）

荒木大樹、やながせ裕文、柴田巧、鈴木宗男

問1 貴殿が今回の参議院議員選挙に立候補される際の「個人の選挙公約」に、何らかのLGBT支援・権利確保政策は既に含まれていますか？将来はいかがでしょうか？（単独回答）

1. LGBTの課題として、既に含まれている

やながせ裕文

2. 様々な少数者の支援・権利確保を謳う中に含まれている

荒木大樹

3. 将来入る可能性はある

柴田巧、鈴木宗男

4. 将来入る可能性はない

その他（具体的に： _____）

問2 個人としての、LGBT当事者への接し方について、お伺いします。ご家族や友人からLGBTであることを、もし告白（カミングアウト）されたら、あなたはどうなさいますか？（複数回答可）

1. その人を尊重し応援したいと思う

荒木大樹、やながせ裕文、柴田巧、鈴木宗男

2. 距離をおきたいと思う

3. 差別や偏見で苦勞するだろうから、異性愛者としてや、戸籍上の性別のままで生きるように諭す
4. 答えられない／分からない
5. その他（具体的に： _____）

問3 LGBT支援政策の下記の①－⑦の課題各々に関して、法制度や行政がどのように対応すべきか、ご自身のお考えを選択肢1－5から選び、ご記入下さい。

① 性的指向・性自認と、LGBT当事者の直面する困難について、広く社会に教育・啓発を行う。

1. 法律で義務化し、全国的に普遍的な制度とすべきである。

荒木大樹

2. 法律にて具体策は規定せず、行政（省庁・自治体）の裁量に委ねるべきである

やながせ裕文

3. 現場の裁量に委ねるべきである。

4. わからない

5. その他／1-4から選択肢を選んだ上での補足、等（自由回答）

●柴田巧：多様な価値観を認めあうことを掲げる政党の一員として、党内議論を深めていく。

●鈴木宗男：多様な価値観を認めあうことを掲げる政党の一員として、党内議論を深めていく。

② 学校教育において、多様な性を学習する事を通じて、LGBTへのいじめ・差別を防止する。

1. 法律で義務化し、全国的に普遍的な制度とすべきである。

荒木大樹

2. 法律にて具体策は規定せず、行政（省庁・自治体）の裁量に委ねるべきである

3. 現場の裁量に委ねるべきである。

4. わからない

5. その他／1-4から選択肢を選んだ上での補足、等（自由回答）

●やながせ裕文：多様な価値観を認め合うことを掲げる政党の一員として、リーダーシップをとり、議論を深めていく。

●柴田巧：多様な価値観を認めあうことを掲げる政党の一員として、党内議論を深めていく。

●鈴木宗男：多様な価値観を認めあうことを掲げる政党の一員として、党内議論を深めていく。

③ 国・自治体の各レベルで、LGBT（性的指向・性自認に係る）の困難解消に向けた基本計画を策定し、実施する。

1. 法律で義務化し、全国的に普遍的な制度とすべきである。

荒木大樹

2. 法律にて具体策は規定せず、行政（省庁・自治体）の裁量に委ねるべきである

3. 現場の裁量に委ねるべきである。

4. わからない

5. その他／1-4 から選択肢を選んだ上での補足、等（自由回答）

●やながせ裕文：国、自治体いずれかのレベルで計画はしていくべき。党内議論を深める。

●柴田巧：多様な価値観を認めあうことを掲げる政党の一員として、党内議論を深めていく。

●鈴木宗男：多様な価値観を認めあうことを掲げる政党の一員として、党内議論を深めていく。

④学校における、LGBT へのいじめ・ハラスメントの防止体制を確立する。

1. 法律で義務化し、全国的に普遍的な制度とすべきである。

荒木大樹

2. 法律にて具体策は規定せず、行政（省庁・自治体）の裁量に委ねるべきである

3. 現場の裁量に委ねるべきである。

4. わからない

5. その他／1-4 から選択肢を選んだ上での補足、等（自由回答）

●やながせ裕文：いじめ、ハラスメント防止体制を構築することを前提に、制度化するか否か、まずは党内で議論する。

●柴田巧：多様な価値観を認めあうことを掲げる政党の一員として、党内議論を深めていく。

●鈴木宗男：多様な価値観を認めあうことを掲げる政党の一員として、党内議論を深めていく。

⑤困難を抱く LGBT に対する、相談・支援の仕組みを、学校・職場等に整備する

1. 法律で義務化し、全国的に普遍的な制度とすべきである。

荒木大樹

2. 法律にて具体策は規定せず、行政（省庁・自治体）の裁量に委ねるべきである

3. 現場の裁量に委ねるべきである。

4. わからない

5. その他／1-4 から選択肢を選んだ上での補足、等（自由回答）

●やながせ裕文：相談支援の仕組みを拘置することを前提に、制度化するか否か、まずは党内で議論する。

●柴田巧：多様な価値観を認めあうことを掲げる政党の一員として、党内議論を深めていく。

●鈴木宗男：多様な価値観を認めあうことを掲げる政党の一員として、党内議論を深めていく。

⑥LGBT に対する（性的指向・性自認に係る）、差別や不利益取扱い防止・禁止する法律やルールを制定する。

1. 法律で義務化し、全国的に普遍的な制度とすべきである。

荒木大樹

2. 法律にて具体策は規定せず、行政（省庁・自治体）の裁量に委ねるべきである

やながせ裕文

3. 現場の裁量に委ねるべきである。

4. わからない

5. その他／1-4 から選択肢を選んだ上での補足、等（自由回答）

●柴田巧:多様な価値観を認めあうことを掲げる政党の一員として、党内議論を深めていく。

●鈴木宗男:多様な価値観を認めあうことを掲げる政党の一員として、党内議論を深めていく。

⑦施設・職場・学校等にて、LGBT に配慮した、サービスや施設面の対応を推進する。

1. 法律で義務化し、全国的に普遍的な制度とすべきである。

荒木大樹

2. 法律にて具体策は規定せず、行政（省庁・自治体）の裁量に委ねるべきである

やながせ裕文

3. 現場の裁量に委ねるべきである。

4. わからない

5. その他／1-4 から選択肢を選んだ上での補足、等（自由回答）

●柴田巧:多様な価値観を認めあうことを掲げる政党の一員として、党内議論を深めていく。

●鈴木宗男:多様な価値観を認めあうことを掲げる政党の一員として、党内議論を深めていく。

問4 世界では、現在 27 の国と地域で同性婚が制度化され、他の多くの国・地域でも同性間に適用できるパートナーシップ制度が広まっています。同性どうしの二人の場合、現行の日本の婚姻制度に当てはまらないため困難に陥る例が多く、異性間と同様・同等に、法的認知・サポートを受けられるようにする法制化を望む声が高まっています。どのような対応が望ましいとお考えですか？（複数回答可）

1. 同性間でも男女と同じ婚姻制度を適用できるようにすべきだ

荒木大樹

2. 現在の婚姻に加えて、別途同性間だけのためのパートナーシップ制度を設けるべきだ

3. 現在の婚姻に加えて、(事実婚など異性間でも、) 同性間でも利用できるパートナーシップ制度を設けるべきだ

荒木大樹

4. 各自治体が、条例や首長のリーダーシップにて、同性間の関係を認知する宣誓・証明等を行う仕組みを広げていくべきだ(渋谷区、世田谷区、伊賀市、宝塚市、那覇市、札幌市等の例にならう)

荒木大樹、やながせ裕文、柴田巧、鈴木宗男

5. こうした制度は異性間のものであるべきで、特に必要ない

6. 答えられない/分からない

7. その他(具体的に:)

●柴田巧: 大阪市では大阪市パートナーシップ宣誓書受領証を交付しています。

問5 貴殿が当選した暁には、様々な困難に直面する LGBT 当事者を支援する為、ひとりの国会議員としてどのような事をされたいとお考えでしょうか? ご自由にお書き下さい。これまでのご経験や実績を踏まえてお書きいただいても結構です。

(自由記述)

●荒木大樹: 一人一人が尊重される世の中をつくるべきであり、これは憲法にもうたわれている。LGBT は個性であり、考え方、志向は、その多様性は尊重されなければならない。

●柴田巧: いろいろお話をお伺いして、認識を深めるところからはじめたいと思います。

●鈴木宗男: いろいろお話をお伺いして、認識を深めるところからはじめたいと思います。